

【議会報告会】

○GAP認証の取得については補助があるが、その更新に補助がなく、負担が重くなっているため、更新にも補助をすることを検討してほしい。また、6次産業化への推進については、一部には手厚い補助があるが、個人の農業者には手続のハードルが高く結果に結びついていない実態があるため、その点も考慮した継続した支援を求める。

⇒議員 GAP認証の取組については、市側も実態を把握しきれていない部分があると感じており、改善を求めていく。6次産業化についても、個人ではなかなか手を回す余裕がないという問題意識を持っており、より運用しやすい施策となるよう、行政側とも共有を図っていく。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：コロナ禍における地区市民センター業務について》

○地区市民センターでのもめごとなどに備え、防犯カメラの配備を充実させてほしい。

⇒議員 各地区市民センターの窓口には、既に防犯カメラが設置されているが、駐車場等のそれ以外の場所までは現在カバーできていないため、ご意見として承る。

○深夜に具合が悪くなり、救急車で三重県立総合医療センターに搬送された際、紹介状がないため初診料が高くなると言われ、高額な料金を支払った。後日、市立四日市病院にそのことを確認したところ救急搬送の場合、そのように高額な初診料はかからないのではないとも言われた。この点について確認したい。

⇒議員 どうしてそのような差異があるのか、この場で答えることは難しいが、市立四日市病院に係ることについては後日確認しておく。

○四日市市LINE公式アカウントについての報道を見たことがあり、その後情報漏洩などの問題もあったが、既に運用は開始されているのか。

⇒議員 当初は令和3年4月運用開始の予定であったが、指摘のあった情報漏洩の問題で開始を遅らせており、結果として令和3年7月からサービスが始まっている。しかし、登録人数が伸び悩んでおり、現在のプッシュ通知のみの運用に留まらず、今後様々な活用ができるよう内容を充実させていく。

⇒議員 情報漏洩の危険性が完全に解消されたわけではないが、四日市市LINE公式アカウ

ントについては、現在市民の個人情報扱うことはなく、市民の方に積極的に情報を伝えたいという意思で運用している

○人・農地プランの取組について、認定農業者や集団営農者がしっかりと補助が受けられるよう、市の農水振興課にも積極的に取り組んでほしい。

⇒議員 農家に対する補助が他国に劣っていることは否めない。就農人口が減少している中で、日本の農業を持続させていくためには、より補助を充実させていく必要があると考える。ご意見として承り、担当部局に伝える。

○昨年から今年にかけて、コロナ禍により米の価格が大きく下落している状況であり、田が荒廃農地に変わっていつてしまっている。若い営農者に引き継いでいけるような支援施策が必要ではないか。

⇒議員 国主導の施策が必要であるため、まず国に対して意見を伝えていくことが大切となる。市議会としても県や国に対して引き続き支援を求めていく。

○市から農家に対して行っている、人・農地プランの実質化に向けたアンケートについては、どのように活用されているのか。

⇒議員 アンケートの結果やその活用、今後のスケジュールについては現在把握できていないため、早急に確認する。

○イノシシの目撃数が昨今非常に多く、いつ人的な被害が出るともわからない状況である。檻の数を増やすといった対策を図ってもらえないか。

○イノシシ被害については、檻を設置するなどして対策はしているものの、市主導での檻設置が全域をカバーできていない現状がある。有害鳥獣駆除の一環としてイノシシ被害に対するサポートも厚くしてほしい。

⇒議員 檻の数があれば、地域や猟友会の活動の範疇でイノシシの被害を少なくできる見込みであることはご意見として承り、担当部局に伝える。また、市の現在の取組についても改めて確認する。

○タヌキ、ハクビシン、キツネといった動物が増えていると感じる。空き家が増え、そこがすみかとなっているため、何らかの対策を求める。

⇒議員 空き家の問題については、建築指導課で空き家の取り壊しに補助を出しており、積極的に利用していただけるよう勧奨していく。有害鳥獣の捕獲や処分については猟友会等に頼らざるを得ない場面が多いが、猟友会員も高齢化してきているため、若い人材を募る施策も必要であると考えます。